

「デジとしよ信州」の取組みについて

長野県教育委員会事務局 生涯学習課
市町村と県による協働電子図書館運営委員会

1 運営状況(令和4年8月5日～令和7年7月末時点)

【利用登録者数】 **31,018** 名

・ 77 市町村全てに登録者あり

【蔵書数】 計 **24,371** 冊

- ・ 購入(有償)コンテンツ: 13,101 冊
※R4,R5 は宝くじ助成金を活用
- ・ 買切型と制限型コンテンツの割合: 6.4 : 3.6
- ・ 同時アクセス無制限パックを導入 (50 冊)
※朝の読書活動や調べ学習などで活用しやすい児童書
- ・ 市町村が登録した地域資料: 8 自治体 70 冊

視覚障害の方専用電子図書館
「アクセシブルライブラリー」



- ・ 障害者手帳をお持ちの方専用電子書籍を音声自動読み上げするサービス
- ・ 読書バリアフリー推進の取組の一環

※自治体毎に地域の社会福祉協議会等と連携し、必要な方に届くよう利用促進を図っている

【累計貸出数】 **267,459** 冊

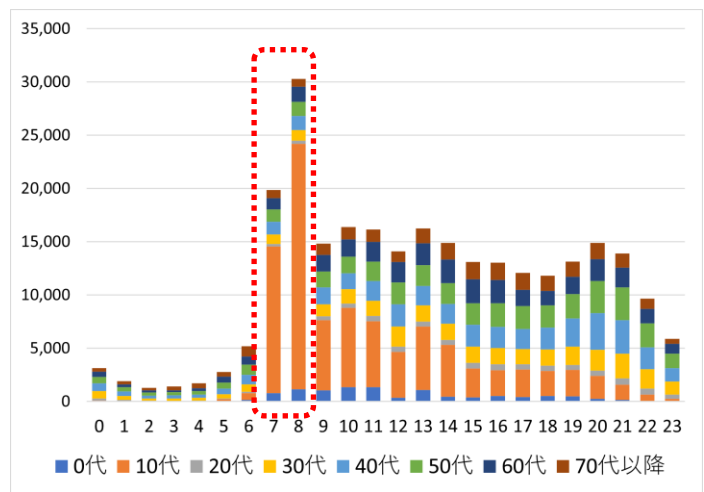
・ 最多貸出年代

10 代(34%)、次いで 40 代(14%)、50 代(14%)

・ 最多貸出時間

8 時台 (7、8 時台は 10 代の利用が際立って多いため、学校の朝読書等で活用されていると想定)

若い世代は午前中、大人世代は午後～夜に活用している



(年代・時間帯別の貸出状況)

2 重点取組事項

● 学校教育との連携 + 多様な学びの場における活用検討

- ・ 学校での活用（朝の読書活動や調べ学習等）がしやすいコンテンツを重点的に選書・購入
- ・ 教職員向けデモ ID の貸与により、授業での活用にもって教材研究等に活用できる環境を提供
実績：83 校 312ID（小学校 48 校、中学校 25 校、高等学校 9 校、特別支援学校 1 校）
- ・ 小・中・高校、特別支援学校における児童生徒の ID 一括登録に加え、教育支援センター（中間教室）やフリースクール等、さまざまな居場所における学びの環境充実の検討

● 読書バリアフリーのさらなる推進

- ・ 福祉関係団体や特別支援学校等と連携し、「デジとしよ信州」（アクセシブルライブラリー含む）を全県的に推進
- ・ 聴覚障がい者に向けた「デジとしよ信州」体験会を市町村・長野県聴覚障がい者情報センターと連携して県内各地で実施（累計 5 回）

● 地域資料の充実

- ・ 学校の副読本や地域を学ぶ資料等、自治体が著作権を持つ資料の電子書籍化の方策を検討

※利用実績やニーズ、出版動向等を見ながら、必要な蔵書構成を見極め、今後の事業展開に向けて財源（市町村負担金等）についても引き続き検討していく。

参考：R 7 事業費：10,376 千円（資料費：市町村負担金 8,000 千円、運営費：長野県 2,376 千円）

3 各市町村における活用状況の一例

学校との連携

佐久市



デジタルの特長を活かした学び

【野沢小学校】

- ・英語の電子書籍を使い、ネイティブスピーカーによる読み上げ機能を活用して、リスニングとスピーキングを練習

塩尻市



同時アクセス無制限のコンテンツならクラス全員で同じ本を読むこともできる

【丘中学校】

- ・「デジとしよ信州」に同時アクセス無制限の「児童生徒用読みものセット」が導入されたことに合わせて、全校読書の時間にデジタルでも紙でも読書ができる環境を整備

箕輪町

- ・町内小中学校の全児童生徒が「デジとしよ信州」を登録
- ・公共図書館が学校での一括登録にあたって全面的にサポート

大桑村

【大桑小学校】

- ・学校と公共図書館が協力し、6学年の児童を対象に「デジとしよ信州」利用講座を実施
- ・事前に公共図書館と「デジとしよ信州」の利用登録

高森町



子どもたちは紙の本と電子書籍を必要に応じて自発的に使い分け

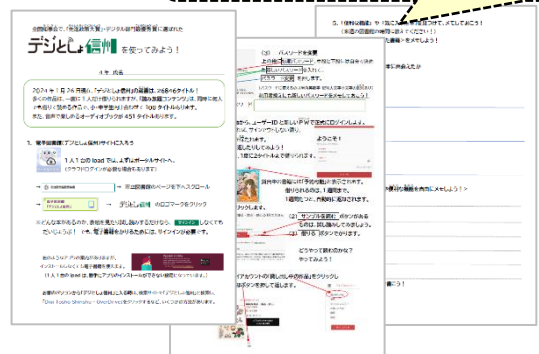
【高森北小学校】

- ・1年生は全員が町立図書館に利用登録
- ・3年生になると、全員が「デジとしよ信州」にも登録
- ・地域資料の電子化にも力を入れる



長野市

児童が「デジとしよ信州」に親しむためのワークシート



【松ヶ丘小学校】

- ・担任と学校司書が協力し、図書館の社会見学を契機として、児童と家庭へ公共図書館の利用を案内
- ・児童の利用登録を進めたうえで、オリジナルのワークシートを活用し、授業で「デジとしよ信州」の利用教育を実施

地域との連携

天龍村



- ・「天龍村くらし安心 ICT ネットワーク事業」で、希望する65歳以上の住民および障害をお持ちの方にタブレットを配布
- ・「緊急」「ラジオ」等のアプリと共に、「デジとしよ信州」専用アプリも予めインストール



岡谷市・安曇野市
佐久穂町・軽井沢町
高森町・大桑村
生坂村・栄村

- ・各自治体が刊行した地域資料を電子書籍化して「デジとしよ信州」に公開
- ・現在は8市町村の村史や偉人の漫画、古文書、観光ガイドなどが並んでおり、他の自治体でも取組が広がっている。

4 外部からの評価

- 全国知事会「先進政策バンク」：令和 5 年度「先進政策大賞」、「デジタル・ソリューション・アワード大賞」受賞
- （一社）プラチナ構想ネットワーク：第 11 回プラチナ大賞「優秀賞 地域パートナーシップ賞」受賞（令和 5 年度）
- 主な事例紹介・メディア掲載実績

メディア掲載

- ・ 日本経済新聞（2023 年 10 月 5 日）
「（地域のチカラ街のイノベーション）長野県 電子図書館、朝読書・授業に」
- ・ 『電子図書館・電子書籍サービス調査報告 2023』（樹村房、2024 年 1 月）
事例掲載：「デジとしよ信州」長野県民はだれでもいつでもどこからでも
- ・ 「カレントアウェアネス」No.361（2024 年 9 月 20 日）
「市町村と県による協働電子図書館「デジとしよ信州」のこれまでとこれから」掲載
- ・ 『信濃毎日新聞』（2024 年 10 月 4 日）「スマホで便利生活」デジタルエンタメの事例として紹介
- ・ 雑誌『月刊ガバナンス』（ぎょうせい）2024 年 11 月号 特集「地域の知の拠点を守る」で取材レポート掲載

有識者会議での紹介

- ・ 図書館・学校図書館の運営の充実に関する有識者会議（第 2 回）（令和 7 年 1 月 23 日）
【資料 2】池内委員発表資料：コンソーシアムの構築例としてデジとしよ信州（長野県：2022 年～）
- ・ 同会議（第 5 回）（令和 7 年 7 月 17 日）
【資料 2】松本委員発表資料：「注目される連携・協働」事例として「デジとしよ信州」「信州ブックサーチ」紹介

文部科学省関連資料

- ・ 『公民館・図書館の官民連携/デジタル活用事例』（2024 年 12 月）
掲載事例：デジタル活用で県民が等しく情報にアクセスできる仕組みづくり「デジとしよ信州」「信州デジタルコモンズ」（長野県） 他
- ・ 『令和 6 年度子供の読書活動の推進等に関する調査研究電子図書館・電子書籍と子供の読書活動推進に関する実態調査』（2025 年 3 月）
掲載事例：市町村と県による協働電子図書館運営委員会(長野県)誰一人取り残さない― 地域の情報格差解消をめざす「デジとしよ信州」